



▲素敵な歌声に会場のみなさんは酔いしれました

あ やめフローレンス

＝第一回コーラス発表会＝

町のコーラスグループ「あやめフローレンス」(佐藤真理子代表)の創立25周年を記念した第一回コーラス発表会が11月17日(日)に矢吹町民文化センターで開催されました。

当日は、鏡石町民をはじめ、約150人が、童謡・唱歌からポップスまで幅広く歌うメンバー22人の歌を楽しみました。

可 愛く仮装できました

＝育児サークル「ハロウィン・パーティー」＝
町育児サークルでは、毎年恒例のハロウィン・パーティーを10月31日(休)に開催しました。

ハロウィン・パーティーには親子で約70人が参加し、本町商店街13店の協力で可愛いお化けやアニメキャラに仮装した子どもたちが、商店街を回ってお菓子などをもらいました。



▲「トリック オア トリート(お菓子をくれないといたずらするぞ)」



▲素晴らしい作品が揃った文化祭会場

様 々な文化を発表

＝秋の文化祭＝

11月2日(出)～4日(月)、町公民館などにおいて秋の文化祭が開催されました。文化祭では、幼児から高齢者までの書道や絵画などの1,253作品が展示され、会場となった公民館は多くの作品で埋め尽くされました。

また、10月26日(出)に開催された文化芸能祭では、歌謡発表などが行われ、16団体、約136名が参加しました。

【鏡石町長賞】

盆栽山野草展 関根 徹さん
一般作品展 面川節子さん 写真展 常松道男さん

命 の大切さを

＝鏡石中学校PTA教育講演会＝

11月13日(休)、町中学校体育館で鏡石中学校PTA教育講演会が開催され、「夜回り先生」として有名な水谷修さんが講師として、「命の大切さ」について講演を行いました。当日は鏡石中生徒・教職員や保護者の約500人が参加しました。

水谷さんは、シンナー中毒で救えなかった教え子の話や薬物やドラッグとの戦いなどの体験談で生徒たちに命の大切さを伝えました。



▲壮絶な体験談を語る水谷修さん

秋 の鏡石を走り抜け

＝鏡石駅伝・ロードレース大会＝

11月4日(月)、鳥見山陸上競技場を会場に、第8回鏡石駅伝・ロードレース大会が行われ、約1千人のランナーが秋の町内を駆け抜けました。

ロードレースの部では、885名、駅伝の部では、31チーム155名のランナーがエントリーしました。また、参加したランナーのみなさんには、ゴール後に体が温まるみそ汁が無料でふるまわれました。



▲親子の部でも真剣に走る参加者のみなさん

まちの話題 フォトアルバム



▲火災発生の防止を呼びかける消防団と女性消防隊

火 災に注意しよう

＝火災予防広報活動＝

11月2日(出)、町内の仮設住宅4か所ですべて入居者を対象とし、秋季全国火災予防運動の一環として、町消防団(小林勇雄団長)本部員と町女性消防隊(小貫まり子隊長)による火災予防広報活動が行われました。

活動は、2班編成により、「火の用心」、「平成25年秋季全国火災予防運動」のチラシを配布しました。

福 祉への心

＝ボランティアフェスティバル＝

社会福祉法人鏡石町社会福祉協議会(正木正秋会長)のボランティアセンターによる第3回ボランティアフェスティバルが11月3日(日)に老人福祉センターで行われました。

当日は、町内で活躍する福祉・ボランティア団体や町民など約400人が参加し、お互いにボランティアへの理解と関心を高めました。



▲盲導犬のデモンストレーションも披露されました

災 害に備えて

＝LPガス等の供給協力に関する協定＝

11月11日(月)、福島県LPガス協会須賀川支部(吉田一興支部長)との「災害時におけるLPガス等の供給協力に関する協定」の調印式が行われました。

この協定により、災害発生時には避難所にLPガスや器具が優先的に配置されることとなります。

調印式では、遠藤町長が「震災時には炊き出しなどがすぐできなかった。この協定は町民にとっても明るいニュースです」とあいさつをしました。



▲協定を結んだ吉田支部長(左)と遠藤町長(右)